

助成番号：694

招へい目的：「韓国の養鹿産業の現況と機能性食品の開発について」の特別講演， 学術情報交換及び今後の共同研究についての打合せの実施

外国人研究者名：李 致鎬（リ チホ）先生，全 炳台（ジョン ビョンテ）先生
国 籍：大韓民国
所属機関・職名：建国大学校・教授
外国人研究者招へい助成申請者：韓 圭鎬（食品科学研究部門・助教）

1. 目 的

帯広畜産大学と建国大学校との学術交流協定に基づき「韓国の養鹿産業の現況と機能性食品の開発について」の特別講演，学術情報交換及び今後の共同研究についての打合せを行うために招へいした。

2. 期 間

平成21年8月8日～8月11日

3. 場 所

帯広畜産大学

4. 内 容

本学との姉妹校である建国大学校とは交流協定を締結し，現在まで約30年間に渡り国際交流を行っている。更に本環境生化学研究室では1998年から建国大学校動物生命科大学の李致鎬教授と協力して，韓国産植物及び畜産物を用いた機能性食品の解明に関する共同研究に携わってきた。今回，帯広畜産大学後援会のご援助によりこの共同研究における建国大学側の中心的な役割を担当している李致鎬教授と建国大学校忠州キャンパスの



長澤秀行学長，伊藤理事との懇談会

副総長である全炳台教授をお招きし、特別講演の開催及び共同研究に関する打ち合わせを行った。共同研究の打ち合わせは建国大学の両教授と帯広畜産大学からは福島教授、関川教授、島田准教授及び私（韓）の4名が出席し、これまでの研究成果の確認と今後の研究の方向性について活発な議論がなされた。さらに招へい期間中には長澤秀行学長、伊藤理事との懇談会で両大学の友好親善の増進、国際的な連携及び交流活動についても更なる発展について約束を交わした。従来、両大学の交流は学生を相互大学に送り、教育・研究レベルで交流を深める事が基盤となっているのだが、今回の招へいによって個人レベルの共同研究による国際学術交流を深めることにより、将来的には更なる親睦交流や教職員等の受け入れ、派遣、国際会議等の開催・参加、国際共同研究の実施・参画等様々な活動に発展する事が期待された。

特別講演のプログラムを以下に示す。

韓国における畜産・食品系研究の現況

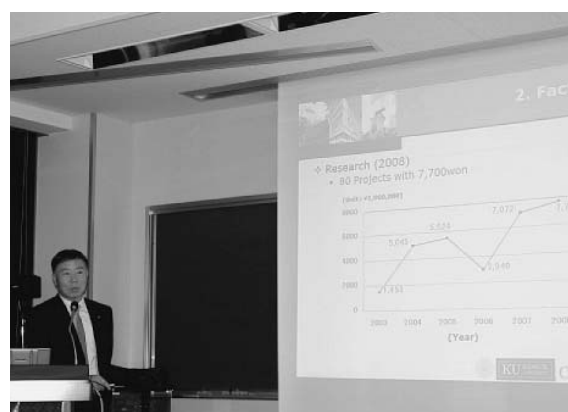
特別講演1：李 致鎬 先生

タイトル：発酵した大豆オカラ由来のイソフラボンアグリコンの骨粗鬆症予防効果について

特別講演2：全 炳台 先生

タイトル：韓国の養鹿産業の現況について（家畜としてのシカの価値）

今回、韓国の養鹿産業の現況と機能性食品の開発に関して建国大学校の研究グループの“発酵した大豆オカラ由来のイソフラボンアグリコンの骨粗鬆症予防効果について”と“韓国の養鹿産業の現況と機能性食品の開発について”という内容の特別講演をして頂き、本学の教員及び学生に対して韓国の食品産業事情、食品素材の開発等の食品栄養科学分野の把握、さらに建国大学校の研究・教育システムに関する有益な情報が得られた。



特別講演風景（李 致鎬 先生）



特別講演風景（全 炳台 先生）

最後に、このような機会を与えてくださいました帯広畜産大学後援会に深謝いたしますとともに、李致鎬教授・全炳台教授の招へい期間中に快くお引き受けくださいましたすべての教員及び学生に厚くご礼申し上げます。

キーワード：建国大学，特別講演，学術情報交換，共同研究